

開館しました！岡山県記録資料館

岡山県記録資料館 横山 定

2005年9月7日、岡山県立記録資料館は開館しました。台風第14号の接近によって、開館式が中止となるなかでの出発となりました。

岡山県での公文書館設立への本格的な動きは、1988年9月の公文書館検討プロジェクトチームの設置からでした。翌1989年には、有識者からなる「岡山県公文書館構想検討委員会」が設置され、「公文書館の基本構想について」が知事に答申されました。そして1990年、旧日本銀行岡山支店の建物を取り込む形で、図書館と公文書館の複合施設を建設する基本計画が発表されます。しかし、この計画に対して、敷地が狭小なことや図書館の高層化などに反対意見が続出し、また折からの県財政の逼迫もあり、1994年事実上建設延期となります。その後、2002年、旧国立岡山病院跡地での整備案が浮上し、もとの小児病棟（1974年竣工）を改修して公文書館を整備することになりました。

施設整備と開館後の維持管理は、PFI（Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）という形をとることになりました。このPFI事業は、民間事業者が施設を改修し管理・運営するが、地方公共団体が施設の所有者となるRO方式で、民間事業者が行う改修・維持管理などサービスの対価を地方公共団体が支払うサービス購入型という形態をとっています。この民間事業者による維持管理は、2020年3月31日まで継続されます。

このように改修された当館は、別の建物にある地下倉庫も含めて延べ床面積1,701平方メートル、書庫面積約800平方メートルで、どちらも全国平均の半分程度しかありません。特に書庫の不足は、今後の館の活動にも大きく影響することになります。そこで、狭い収蔵スペースを最大限利用するために、移動書架を導入することにしました。これにより、約40万冊の収蔵が可能であると考えています。しかし、スチール製の移動書架特有の問題、例えば、移動時の転落や空気循環・結露によるカビの発生などに対応していかなければなりません。後者に関しては、書架をこまめに移動させ、週一回の書庫内清掃などの対応をとっています。また、館内の対応だけでなく、専門業者にコンサルタント業務を委託することも今後検討していきます。

次に館内に収蔵している記録資料を紹介します。公文書については、1981年から廃棄文書を中心として収集を続けています。戦前の県庁公文書は、1945年6月の岡山空襲により、そのほとんどが灰燼に帰しています。また戦後の県庁公文書についても、

1970年代以前のはほとんど収集できておりません。このため、公開可能となる完結後30年経過した公文書の数も、まだ少ない状態です。このほか、購入・寄贈・寄託による古文書や、岡山県史編纂室以来撮影してきた古文書の複製資料なども所蔵しています。

また、図書館・博物館などの関係機関との連携を進めつつあります。現在までに、県立図書館が所蔵していた古文書（約25,000件）の当館への移管、県立図書館ホームページにある「デジタル岡山大百科」での記録資料館・図書館・博物館所蔵資料の横断検索などが実現しています。

最後に、当館のホームページと所蔵資料検索システムについて紹介します。開館と同時に、ホームページと所蔵資料検索システムを立ち上げました。ホームページは、ウェブアクセシビリティに配慮し、デザインもシンプルかつ親しみやすさを重視して作成しています。所蔵資料検索システムには、国際標準プロトコルである「Z39.50」を用いています。これにより、都道府県機関では初めて、国立公文書館との資料横断検索が実現しています。公開データはまだ少ないですが、整理・確認作業を進め、充実させていきます。

このように小規模な岡山県立記録資料館ですが、「小さな施設・大きな役割」をモットーにして今後の活動を進めてまいります。



データシート

平成17年9月7日現在

- ・機関名：岡山県記録資料館
- ・所在地：〒700-0807 岡山県岡山市南方2-13-1
- ・電話/FAX/E-mail：086-222-7838/086-222-7842/
kirokushiryokan@pref.okayama.lg.jp
- ・ホームページ：<http://archives.pref.okayama.jp/>
- ・交通：JR岡山駅東口から北へ徒歩約20分
JR岡山駅発岡電バス（津高営業所行き）、中鉄バス（国立病院行き）「跨線橋東」下車、北へ徒歩約10分
- ・開館年月日：平成17年9月7日
- ・設置根拠：岡山県立記録資料館条例
(平成17年3月18日 岡山県条例第2号)
- ・組織
 - 館長（非常勤嘱託）
 - 副参事（総務担当）
 - 副参事（複製資料等担当）
 - 学芸員（公文書担当）
 - 学芸員（古文書担当）
- ※このほか非常勤嘱託2、臨時職員2
- ・建物：鉄筋コンクリート造、地上3階（一部4階）
延床面積 1,701㎡ 書架延長 約9,600m（フィルム保管庫除く）
- ・収蔵資料の概要（平成17年9月現在）：
 - 公文書 約6万件
 - 古文書 約9万件
 - 複製資料 約2万冊（マイクロフィルム含む）
- ・予定している主な事業（平成17年度）
 - 古文書解説講座（入門コース）（月1回開講）
 - 記録と資料のセミナー（月1回開講）
 - 資料保存研修会（平成18年2月開催予定）